

集会活動の手引き

2 集会活動を始めるにあたって

(1) 学級の雰囲気づくり

① 楽しいことを仕掛ける

子どもたちによる集会活動を始めるにあたって、まず子どもたちを「楽しいこと大好き人間」にしておくことを薦めます。そのために初めて持った学級であれば、次のことをやるというふうです。

教師が楽しいことを仕掛ける。

大袈裟にやる必要はありません。5分程度でやれるものでいいのです。朝の活動や帰りの活動、もしくは授業が早めに終わったときの残り時間を使ってください。始業式から1ヵ月もやればいいでしょう。きっと、子どもたちは「楽しいこと大好き人間」になってくれると思います。

② 支持的風土づくり

もうひとつ大事なことは、学級に支持的風土を作っておくことです。学習訓練などで、次のことを指導して積み上げていきましょう。

- ☆発表は、みんなに聞こえるように大きな声で元気よく行う。
- ☆人の話は最後まで聞く。
- ☆失敗があるからこそ、成長があることを自覚させる。
- ☆自分に与えられた仕事には責任を持って取り組む。
- ☆常に人のよさを見つけ、認める努力を忘れない。

(2) 乗ってくる子を生かす

先に述べたように、約1ヵ月、教師からの「楽しいことの仕掛け」を続けると、必ず一人か二人はそれに乗ってくる子どもが現われるはずですが、教師は、その子どもたちを逃さず使うのです。もし一人もそういう子どもが出てこなかったら、個人的に数人の子どもたちに声をかけてみましょう。必ず見つかるはずですが、とにかく、子どもたちに「楽しいことをやりたいなあ」と思わせればよいのです。

そのことと同時に、学級会というものの意味をしっかりと理解させておくことが大切です。そのために、初めて受け持った学級であれば、前学年でどんな学級会をしてきたかを尋ねておきましょう。さて、学級会とは…。

学級会とは、学級成員による自治的活動における最高の議決機関。自分たちの責任において、議決を行い、実践していくことのできる唯一の機関である。

同時に学級会の進め方も指導しておきましょう（話し合い活動の手引き参照）。